

『市町村合併』は、必要なのか？

めまぐるしく移り変わる社会情勢のなか、国は地方行政の構造改革を進めています。市として市民が、「るもい」というまちの未来を真剣に考えるときがきているのです。



！ まちが悲鳴をあげている 市町村を取り巻く状況

道路網の整備や自動車の普及、コンピュータによる情報手段の発達により、通勤や通院、買い物など、わたしたちの日常生活の活動範囲は、市町村という枠を越えて大きく広がっています。

行政サービスにおいても、ごみ処理や環境対策、介護保険の運営など、広域的に取り組むことで、より効果的に行えるサービスが増えています。少子・高齢化対策を例にあげると、我が国の高齢者人口の割合は、平成27年には25.2%になることが予想され、留萌市でも平成16年には5人に1人が65歳以上という、超高齢社会になると予測されています。

これに備え、子育て支援や高齢者福祉の充実を早急に図る必要があるのですが、市町

村は税金などの収入減により、現在の行財政基盤では、十分な対応が難しくなっているのです。

国と地方は、平成13年度末で合わせて666兆円(国民1人当たり約520万円)もの借金が見込まれ、極めて厳しい財政状況にあります。

国が行った小規模市町村に対する地方交付税の見直しにより、ここ数年は、市町村の収入が更に減少するなど、特に厳しい状況となっています。十分な行政サービスを提供していくためには、いまの市町村の枠にこだわることなく、効果的で効果的な行財政体制の整備が求められています。

また、活力のあるまちづくりを進めるためには、市町村の財政力の強化や人材の育成が急がれているのです。

- シリーズ -

みんなで考えなくちゃ！
～これからのるもいのこと～

こんなことが心配なのですが…

お互いの役所が遠く不便



今までの役場、役所は、新市町村の支所や出張所として残ります

周辺部がさびれていく



新市町村のまちづくり計画により、バランスの取れた発展ができます

市民の声が届きにくい



「地域審議会」を置くことで、地域の声を確実に新市町村の首長に届けられます

財政状況に差があると不利



長期的に地域として一体的な発展を図り、財政状況を好転できます

こんなメリットが期待できます

行政サービスの充実



行財政基盤が強化され、行政サービスの充実を図ることができます

行政の体力・能力アップ



専門の部署、職員を置き、高度なサービスを提供することができます

広域的、効果的まちづくり



広域的に考え、公共施設を効率的に配置、同じ地域内の無駄をはぶけます

地域のイメージアップ



イメージアップを図り、地域の総合的な発展につながることを期待されます

！ わたしたちの望むまちの姿 ！ これからの市町村を考えよう

このような現状のなか、すでに留萌市では、消防やし尿処理など、行政の仕事の一部を増毛町や小平町と共同で処理し、広域的な行政サービスにより、事務の効率化を図っています。しかし、広域行政には、お互いの調整や手続きに手間取ることや住民にとって身近でないなどの課題も残っています。

国は、市町村が抱える大きな課題を解決する有力な手段として「市町村合併」を進めています。

これを受けて、留萌市においても、職員で構成する「市町村合併に関する研究会」を設置し、市町村合併に関する様々な調査・研究を幅広く進めています。

ここでひとつ言っておきたいことがあります。

それは、「市町村合併」が必ずしも自分たちのまちに必要なとは限らないということです。

つまり、このような手段を話し合う前段として、市として市民が「将来、このまちが単独でやっていけるのかどうか」について真剣に考え、「単

独では、わたしたちのまちが運営できない」という結論に達したときに初めて、「広域行政」や「市町村合併」などの様々な手段を検討することになるということです。

ただ、市町村合併については、合併を行ったまちに対する交付税や補助金の優遇措置などの国からの特例措置があり、その期限が平成17年3月31日までとなっているのです。そのため、「なぜあのかたの合併について検討しなかつたんだらう」と後悔しないためには、市町村合併の必要性を早急に調査・研究し、市全体で議論する必要があります。

市では、市民の皆さんと一緒に考えるための様々な情報提供だけでなく、市の研究会の調査・研究の経過報告、また、市民の皆さんから直接意見や考えを聞く懇談会の開催や意識調査なども検討していきたいと思っています。

▼次回は、北海道が示した留萌市の合併パターンを紹介します。

● ご意見・お問い合わせ ●

市町村合併について、皆様のご意見をお待ちしています。

企画財政部調整課調整係
☎42・1801(内線)292
FAX 43・8778